

安全方針

たゆみなき「安全」の追求

私たちは「安全」を確保するためには、全社員がたゆまぬ努力を継続することが必要であると考えます。日比谷線列車脱線衝突事故を風化させることなく、職種を問わず、新人からベテランに至る全社員が、安全を最優先する意識を持ち、組織能力としての「現場力」を高めるとともに、新技術の開発や導入などにより、さらなる安全文化を築き上げることが私たちの大きな務めです。

輸送の安全に係る役職員の行動規範

- 安全の確保を最優先として、一致協力して輸送の使命を達成することに努めます。
- 輸送の安全に関する法令や規程類を理解し、遵守して、厳正かつ忠実に職務を遂行します。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- 職務の遂行に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑いのあるときは、最も安全と思われる行動をとります。
- 事故・災害や、その他輸送の安全の確保に支障を及ぼすおそれがある事態が発生したときは、人命救助を最優先に、相互協力のもと、速やかに安全かつ適切な処置をとります。
- 安全に係る情報は、迅速かつ正確に関係箇所に伝達し、共有を図ります。
- 常に問題意識を持って行動し、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

安全防災対策の重点目標 ※ 重点目標は毎年度見直し、社長訓示として全社員に周知しています。

1 自社に起因する事故等の防止

社員や請負者によるミス、車両・設備の故障など自社に起因する事故等の発生を防ぐため、作業手順の徹底的な見直しや作業の確実な実行に努めるとともに、設備の管理・改善等を実施しましょう。

2 ヒューマンエラーの排除

基本動作の徹底と規程類の遵守はもちろん、自社・他社の事故事例やヒヤリ・ハット体験を共有し、発生原因を背後の要因も含めて考え、それらへの対応策を講じ、徹底を図ることにより、ヒューマンエラーの排除に努めましょう。

3 事故・災害・事件対応の充実

事故・災害等発生時の早期復旧のため、地域防災ネットワークなどを活用した部門横断的な訓練を充実させ、連携の強化を図り、対応能力の向上に努めましょう。日頃から各種情報に留意し、駅構内、列車内、車両基地等の施設の巡回及び警戒・警備を適切に行い、テロ行為、犯罪等の事件の未然防止に取り組まましょう。

4 請負工事及び委託作業における事故防止

請負工事及び委託作業においては、安全を最優先とする鉄道事業者としての責任を踏まえた管理、指導及び十分な打合せにより作業一人ひとりに至るまで情報共有を図り、事故防止に努めましょう。

※ 2017年4月1日付